

2003実験動物データ集



注意：2003年データ集に関して著作権は日本エスエルシー(株)が所有していますので、営業行為及び利益目的で配信、複製等の行為は行なわないで下さい。

但し、会社、学内、研究所内の配信、論文投稿等の引用については、日本エスエルシー(株)にお問い合わせ及び確認を取って下さい。



日本エスエルシー株式会社

Japn SLC, Inc.

お問い合わせ先	営業部	関東エリア	TEL:053-486-3155
		関西エリア	TEL:053-486-3157
		九州エリア	TEL:0942-41-1656
			FAX:053-486-3156

血液学的検査および血液化学的検査は、特に記載がない限り以下の条件で実施した。

血液学的検査

絶食) 約16時間

麻酔) エーテル

採血部位) 腹大動脈(ラット)、後大静脈(マウス)

検体) 血液(アングロット/ET; 日本商事 添加) : 血液検査

血漿(3.8%クエン酸ナトリウム添加) : 凝固系検査

測定機器) Coulter Counter T-660 : 血液検査

Coagulometer KC-40 : 凝固系検査

略語) MCV: Mean corpuscular volume

MCH: Mean corpuscular hemoglobin

MCHC: Mean corpuscular hemoglobin concentration

PT: Prothrombin time

APTT: Activated partial thromboplastin time

血液化学的検査

絶食) 約16時間

麻酔) エーテル

採血部位) 腹大動脈(ラット)、後大静脈(マウス)

検体) 血清(-80°C保存)

測定機器) 日立-736/10型オートアナライザー、FLAME PHOTOMETER FLAME-30C、

CHLOR METER C-200AP

測定方法) Total protein : Biuret法

Albumin : BCG法

A/G : ALB/(TP-ALB)

GOT(AST) : リンゴ酸脱水素酵素共役法

GPT(ALT) : 乳酸脱水素酵素共役法

Alkaline phosphatase : p-NPP法

Glucose : ヘキソキナーゼ法

Total cholesterol : CE-COD-POD法

Triglyceride : LPL-GK-GPO-POD法

Phospholipid : PLD-CHD-POD法

Total bilirubin : Diazo法

Blood ureanitrogen : Urease-GLDH法

Creatinine : Jaffé法

Inorganic phosphorus : Fiske-Subbarow法

Calcium : OCPC法

Sodium : 炎光光度法

Pottasium : 炎光光度法

Chloride : 電量滴定法

Non esterified fatty acid : ACS-ACOD-SCEP法

関節炎誘発モデルマウス

DBA/1J Jms Slc

DBA/1J Jms Slc

由来

DBA/1Jマウスは、コラーゲン誘発関節炎モデル動物で当社では本マウスを1997年に東大医科学研究所から導入し、以後生産・供給を行っている。



毛色

淡チョコレート色

特徴・用途

- ・コラーゲン関節炎モデル
- ・ヒトの慢性関節リウマチの実験モデル

コラーゲン関節炎誘発試験

使用動物

系統:DBA/1J Slc マウス
性別:雄
感作匹数:15匹(発症例数15)
感作週齢:8および11週齢
固形飼料:ラボMRストック(日本農産工業)

エマルジョン

- 1)抗原液
 - ①抗原:ウシコラーゲン II 型
 - ②溶媒:0.01M酢酸磷酸緩衝液
 - ①を②にて8mg/mLに調製
- 2)アジュバンド
FIAでMycobacterium tuberculosis H37Raを4mg/mLに調製

1)、2)を等量で合わせ4mg/mLのエマルジョンを作製

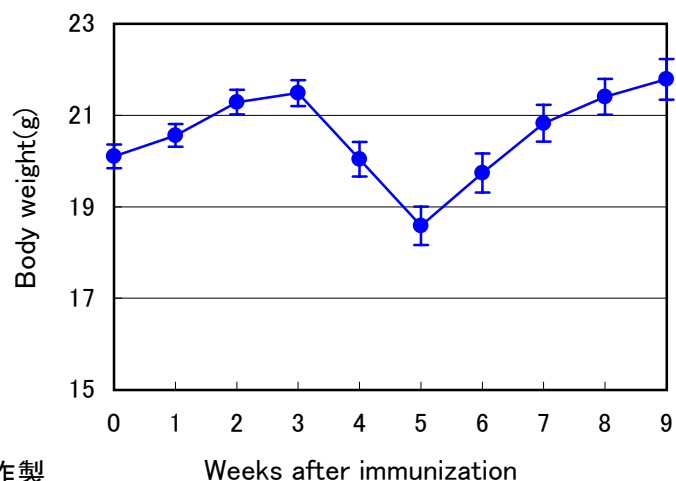
投与

- 第1回:耳介基部皮内
第2回:尾根部皮内
投与量:1、2回とも0.025mL/animalずつ(合計コラーゲン量として0.2mg/animal)投与

関節炎発症率(関節炎指数は左右前後肢、他は左右後肢の平均値を集計)

第2回感作後、翌週に93%、2週で100%

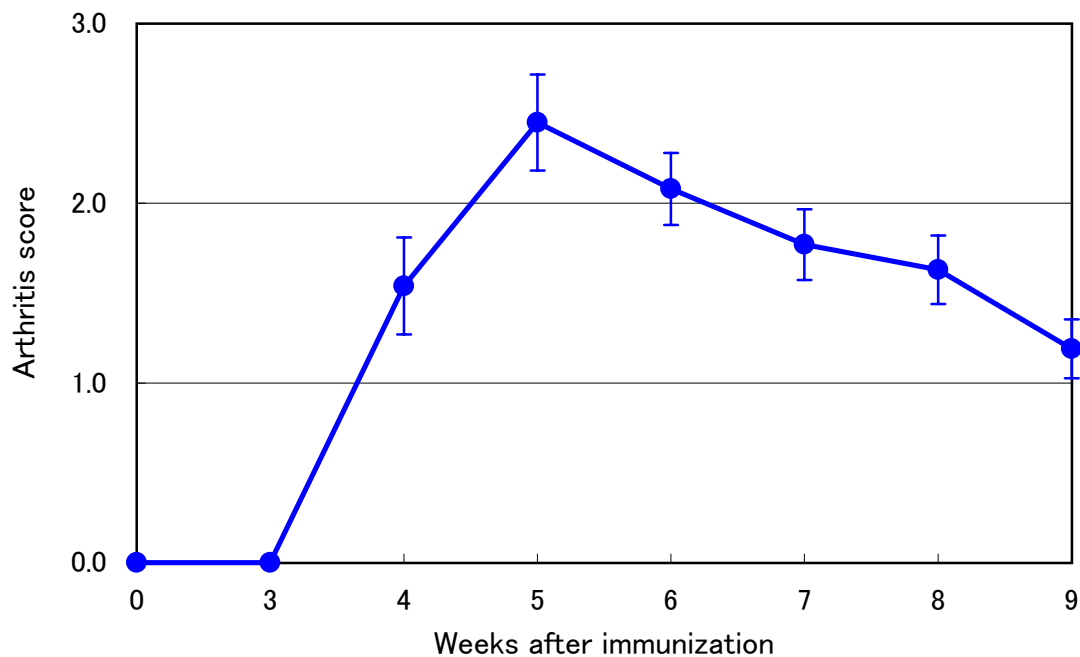
体重(感作後)



関節炎誘発モデルマウス

DBA/1J Jms Slc

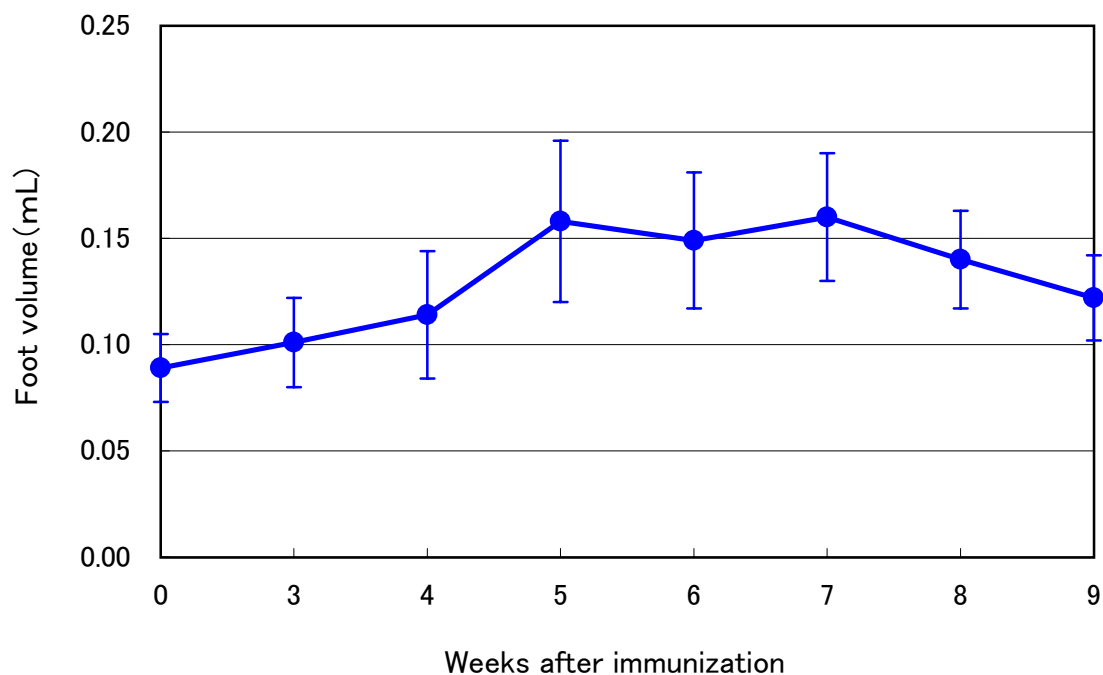
関節炎指数



<関節炎発症の基準>

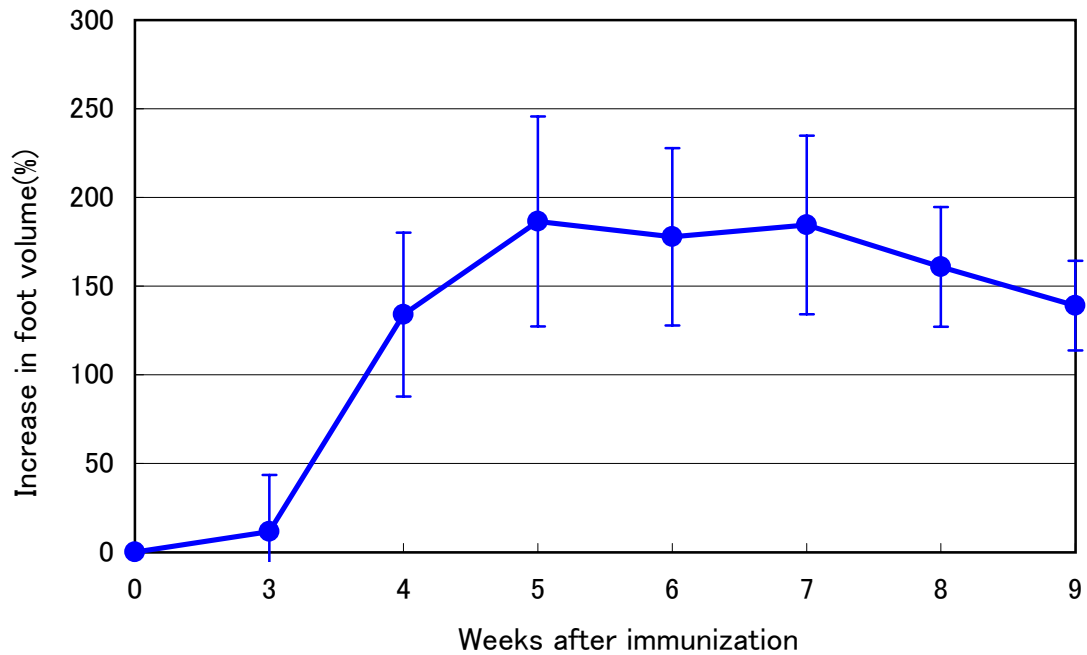
4段階の評点化(0;変化なし 1;足指の腫脹 2;足指および足裏の腫脹 3;足全体の腫脹 4;重度の腫脹)を行い、骨変性がみられた場合+1を加算して評価し、スコア1以上を関節炎発症とした。

後肢容積



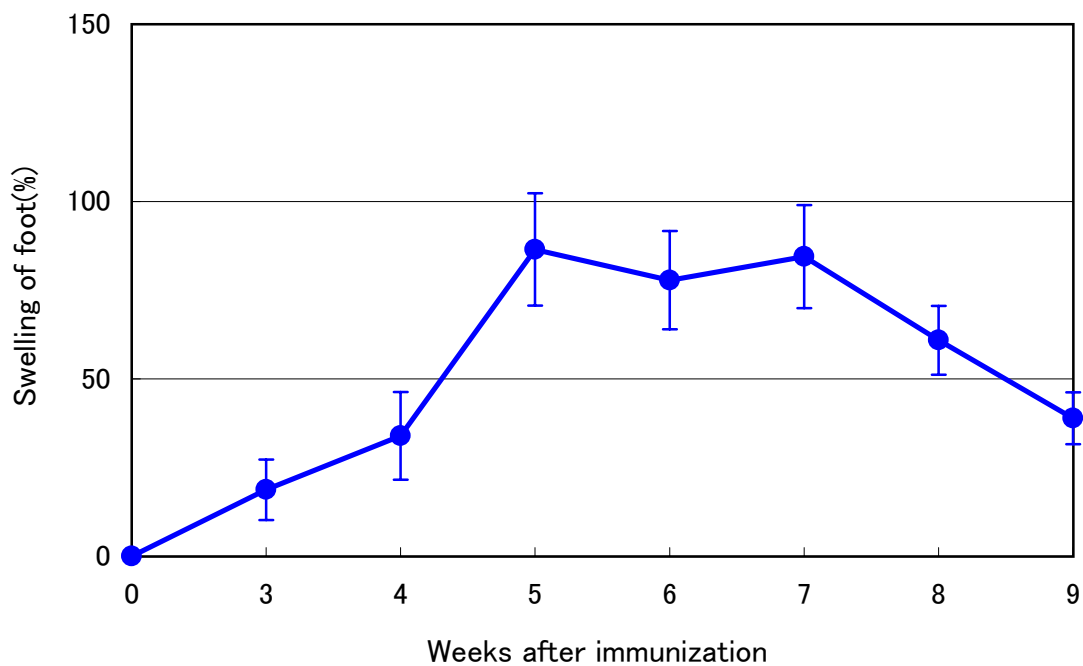
測定機器：デジタルボリュームメーター (MK-500、室町機械)

後肢容積増加率



後肢容積増加率
(処置後の後肢容積 - 処置前の後肢容積) / 処置前の後肢容積 × 100

後肢浮腫率



浮腫率
(処置後の後肢容積 - 処置前の後肢容積) / 処置後の後肢容積 × 100